

科目名	卒業研究 II			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年	必修・選択	必修	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
理学療法に関する知識や技術は、先人の臨床経験により築き上げられたものが大部分を占めるといわれる。しかし近年は経験より根拠に基づいた医療 (Evidence Based Medicine) が求められ、理学療法もその例外ではない。 本授業では4年間に学んだ知識や技術を整理、統合、あるいは再検討し、卒業後に根拠を持った理学療法を提供するため、現象を客観的、論理的に捉える能力を身につける。								
〔授業全体の内容の概要〕								
学生が主体となり、グループ単位で研究テーマ、対象、方法等を設定し、現象に対する仮説検証作業を行う。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題 (到達目標) 〕								
研究結果を発表し、論文にまとめる。								
回数	講義内容							
1	各グループの進行に応じ随時行う。							
2	各グループの進行に応じ随時行う。							
3	各グループの進行に応じ随時行う。							
4	各グループの進行に応じ随時行う。							
5	各グループの進行に応じ随時行う。							
6	各グループの進行に応じ随時行う。							
7	各グループの進行に応じ随時行う。							
8	各グループの進行に応じ随時行う。							
9	各グループの進行に応じ随時行う。							
10	各グループの進行に応じ随時行う。							
11	各グループの進行に応じ随時行う。							
12	各グループの進行に応じ随時行う。							
13	各グループの進行に応じ随時行う。							
14	各グループの進行に応じ随時行う。							
15	各グループの進行に応じ随時行う。							
16	各グループの進行に応じ随時行う。							
17	各グループの進行に応じ随時行う。							
18	各グループの進行に応じ随時行う。							
19	各グループの進行に応じ随時行う。							
20	各グループの進行に応じ随時行う。							
21	各グループの進行に応じ随時行う。							
22	各グループの進行に応じ随時行う。							
23	各グループの進行に応じ随時行う。							
24	各グループの進行に応じ随時行う。							
25	各グループの進行に応じ随時行う。							
26	各グループの進行に応じ随時行う。							
27	各グループの進行に応じ随時行う。							
28	各グループの進行に応じ随時行う。							
29	各グループの進行に応じ随時行う。							
30	各グループの進行に応じ随時行う。							
定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
なし								
【 単位認定の方法及び基準 (試験やレポート評価基準など) 】								
試験で判定する								